

猪名川町水道事業 北部施設統廃合事業

1. 業務の目的

猪名川町水道事業における北部地域の水道施設は老朽化が進んでおり、また、当該地域は山間地域特有の起伏に富んだ地形であり、多くの小規模な配水区域が存在しているため、施設や設備の更新に多大な費用を必要とする状況です。

その一方で、人口については減少傾向にあり、持続可能な水道事業を運営するには、より一層に維持管理の負担を削減できることが望ましいと考えます。

これら多くの小規模な配水区域を統廃合し、地震等の災害に強く、高効率で維持管理性が良い水道施設の構築が本事業の目的です。

2. 事業の概要

既設の朽原加圧ポンプ場から新設送水管によって北部地域全体の水量を旭ヶ丘高区配水池に送水し、そこから旭ヶ丘中区配水池及び旭ヶ丘低区配水池を経由して既存の杉生、鎌倉、島、西畑、柏原、仁頂寺、清水（鶯台）、清水東、笹尾、林田及び朽原に給水するものです。

これにより、施設の統廃合を行うとともに、新施設及び改造等を実施する施設には、新たに自家発電設備を設け、さらに新施設と新設送水管路は全て耐震構造とするなど、北部地域全域へ安定した県水の供給が可能となり、強靱で安全な水道施設を実現するものです。

3. 廃止施設及び新設施設

廃止施設 (7 施設)	新設及び改造等施設 (3 施設)
①杉生配水池	①朽原加圧ポンプ場 (改造)
②杉生加圧ポンプ場	②新設送水ポンプ場
③仁頂寺受水池	③旭ヶ丘高区配水池 (更新増強)
④旭ヶ丘低区配水池 (送水機能)	
⑤鶯台加圧ポンプ場	
⑥笹尾配水池	
⑦笹尾浄水場 (浄水機能)	

注) 施設の廃止は令和 10 年度末とする。

4. 費用比較

イニシャルコスト、ランニングコスト、受水費、施設管理委託費など 20 年間の費用を総合的に比較

・統合しない場合：18.4 億円

・統合する場合：15.9 億円

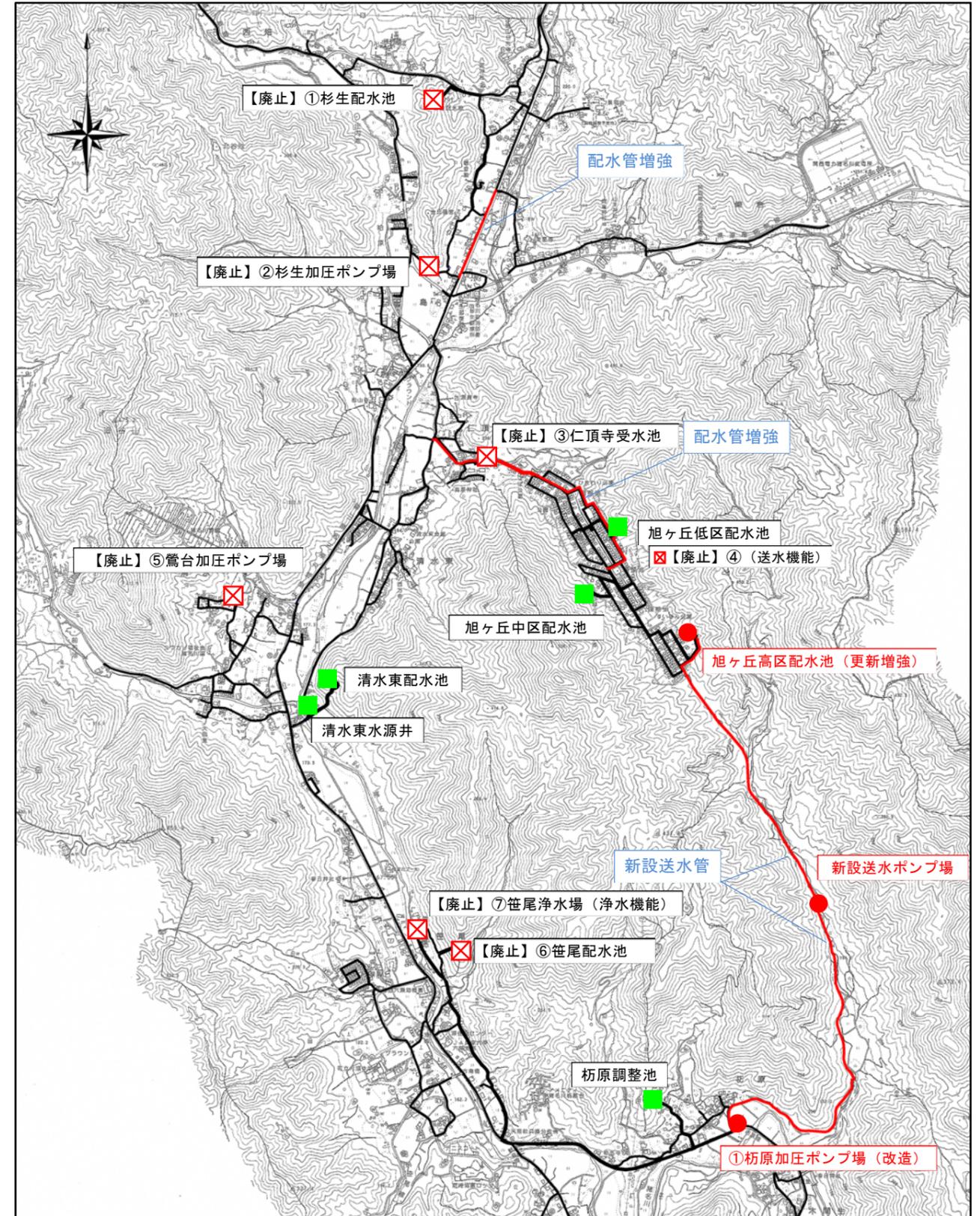
・事業効果：2.5 億円

注) 昨今のさまざまな物価上昇にかかる人件費及び資材費の高騰により約 17%増額

5. 事業費・工程

年度	令和 3	令和 4	令和 5	令和 6	令和 7	令和 8	令和 9	令和 10
総事業費：12.4 億円								
朽原加圧ポンプ場								
新設送水ポンプ場								
旭ヶ丘高区配水池								
送水管工事								
配水管工事								
測量・設計								

注) 世界情勢に関連した資材調達にかかる納期（不測の日数）の大幅な遅れにより 2 箇年の遅れが発生



北部施設統廃合位置図